

在デュッセルドルフ日本国総領事館からのお知らせ

デュッセルドルフ市内で邦人被害の窃盗事件が多発中！

今年に入り、デュッセルドルフ市内において、日本人が被害者となるスリ・置き引きなどの窃盗事件が多発しており、地元警察も注意を呼びかけています。

最近頻発している窃盗事件では、

◇ 車両の運転者に「タイヤがパンクしている」、「この車に犬がひかれた」などと声をかけて車外に誘い出した隙に共犯者が車内のバック等を盗む

◇ 靴屋の店内で、くつを試し履きしている間に所持品を盗む

という手口が目立ちます。

このほか、ホテルのロビーでチェックインや商談中にバック等を盗まれたり、レストランで飲食中にイスにかけた上着から財布が盗まれるなどのスリ・置き引きも多発していますので、以下の点を参考に被害の防止に努めてください。

【防犯の心得】

- 1 確信なく、車両から降りない、離れない。
- 2 見知らぬ人から道で声をかけられても、安易に人を信じない。
- 3 短時間でも安易に路上駐車せず、防犯設備の整った駐車場を利用する。
一車上狙いに遭った邦人の多くが、買物後、路上駐車した車両に戻ったところで犯人に声をかけられている。
- 4 現金・貴重品は身体に密着させて所持する。
一男性ズボンの後ろポケットは、底部を刃物で切られて財布を抜き取られるケースが多いため、貴重品は前ポケットに収納。女性は、カバンのファスナーやふたを体側に向けて携行する。
- 5 レストランでジャケット等をイスにかける場合、財布や携帯電話をポケットに入れたままにしない。

以 上